

## 教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	おすすめメッセージ
安田 慎 先生	
① 図書名：歴史学はこう考える  著者：松沢裕作 出版社：筑摩書房	歴史をどのように解釈をするのか。その営為は誰でもできるように見えて、実は一定の形式に基づいた解釈の仕方が存在する。史料（一次資料）の活用と史料批判について多くの書籍で議論されてきた一方で、歴史学にみられる「解釈の仕方」を全面に押し出しつつ、手順を踏んで丁寧に論じる姿は、歴史を扱う初学者や他分野の者にも参考になる一冊である。この書を片手に、みんな歴史に触れてみよう！
② 図書名：遊びと利他  著者：北村匡平 出版社：集英社出版	遊びとは、ともすると「楽しむためのもの」であったり、「余分なもの」として、現代社会においては軽視されることも多いものとなっている。特に、特定の目的もなくただ「遊ぶ」ことに関しては、ともすれば社会的な批判の対象となりかねないものである。 しかし、遊びとはその自由さと創造性のなかで、社会性を育むためになくてはならないものもあるのだ。それどころか、私たちが生きていくなかで、いかに社会とのつながりを作っていくべきなのか、漠然としながらも学んでいることは多い。こうした遊びの持つ現代的意義を改めて考えさせてくれる一冊。
③ 図書名：仏教を「経営」する 実験寺院のフィールドワーク  著者：藏本龍介 出版社：NHK出版社	ミヤンマーにおいて仏教寺院を研究してきた宗教社会学者が、日本において実験寺院を設立して、現代社会における仏教の新たな可能性を導こうとする、アクション・リサーチの試みを記したエスノグラフィーである。その背後には、新自由主義社会が地域を問わずにあらゆる領域に浸透していく過程で、宗教が果たす役割やその特徴が何であるのか、今一度問い合わせ直す必要性がある、作者のこれまでの研究の背景と成果が横たわる。 宗教をめぐる新たな可能性と限界を示す、ひとつの参照軸となる書籍である。